

研修名 マネジメント

令和元年9月13日(金) 13:30~16:00

講演・演習 「教育・保育施設等におけるリーダーシップの理解」

講師 株式会社エイデル研究所 小林 雄二郎 氏

1 講演要旨

1) 組織のコミュニケーション「ハウレンソウ」3つ

- ① 報告…仕事が完了したとき（長い仕事は節目に）その結果、状況を上司（仕事を指示した人）に伝える。
- ② 連絡…縦・横の仕事を結びつけ、他の人の仕事を助ける為に行う。
お知らせや伝えておくべきことを情報共有する。
- ③ 相談…仕事のやり方がわからない時、どちらにした方が良いか判断が付かない時、情報が欲しい時等に、上司や先輩に助言・指示を仰ぐ。
自分で判断してはいけない時に相談をする。

☆職員同士の意思疎通がとれていること。いかに活性化させるかが大事！

2) チームワークとは

- *皆が一体となって目標や共通の課題に向かって一緒に動いていること。
- *仲が良いからといって、チームワークが良いとは限らない。
- *仲が悪くても、仕事のチームワークとしては良いこともある。

(例) 漫才コンビ…仲が良すぎて適切な返しが出来ない場合がある。相手に言えないこともある。コンビでも普段は口を利かないが、舞台の上では最高の芸をするコンビもある。

3) 「業務役割」演習

役割を決める判断力も重要な仕事である。役割を任せられたことで仕事に対してやる気が出たり、やる気を無くしたりする。

☆実際に役割を決め、他の人と話し合うことも大事であり、他の人の意見を参考に「そういう考え方もあるんだ」と思えるようにする。

(グループワーク)

☆人間関係や仕事の効率、育成を優先する等のバランスを考えて割り当てを行う。

4) リーダーシップ

良いリーダーの条件→良いリーダーがいるとチームも良くなる。が、その人がいなくなるとダメになったりする。

☆リーダーシップのチェックリスト☆

個人の知識と経験が集団において、生かさせるかどうかは別のもの。知識や経験の多い人がたくさん集まったからと言って、必ずしも良い集団ができる訳ではない。

① 指示型…こと細かに伝え、リーダーが指示する。

② 援助型…本人たちに任せて、やってみてどうだったか話をしたりする。

集団それぞれのタイプを理解し、どうすべきか正しい判断をできる人になる。柔軟性が必要である。

2 感想

今回の研修で、改めて、コミュニケーションの大切さを感じた。職員同士がひとつの集団として良い集団になる為には、意思疎通がしっかりとれていること、チームワークを良くする為には、柔軟な対応や人間関係をどうしていくか、ひとり一人の特徴や性格等をよく把握し、バランスを考えて役割を分担すること、仕事を通してその子がどう育ち、成長するか等、たくさんのことを考えていかないといけないと再確認した。そして、リーダーシップの大変さ、難しさを感じた。

職員同士で話し合いをし、他の人の想いや意見、考えを聞いて勉強したり、いろんな考え方があると知り、自分の考えとの違いを受け止めることも大切にしたいと思った。

実際に、グループワークをしたり、チェックリストを付けることで自分のリーダーとしてのスタイルが判り、参考になった。他の人と話すことで、意見が一致したり、異なったりして、面白さも感じる事ができた。

中堅リーダーとして、職場の雰囲気良くし、全職員が向上していける、乳幼児教育・保育集団にしていきたい。今回の研修を生かして行こうと考えている。

(記録：岡田こども園 佐藤奈奈美)